

「トマト農場」で高付加価値野菜を安定栽培

施設栽培技術の導入により農民の収入向上に貢献

国際協力機構(JICA)は7月16日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において銀座農園株式会社(東京都中央区、飯村一樹代表取締役)が提案する「日タイ連携による高付加価値果菜類の生産販売ビジネス構築を通じた農業技術・生産向上の案件化調査」(タイ国)を採択しました。

タイでは、農業分野の人口は全体の約40%を占めているにも関わらず、GDPでは12%にとどまっています。同国は中進国入りしたものの、依然、都市部と地方との格差は大きく、農業従事者の農業技術及び所得向上が課題となっています。

提案製品であるトマト農場は、日本の先端的な施設栽培技術を用い、ICTと連動することにより適切な量の肥料と水分を自動で与えることができ、高糖度で栄養価の高いトマトを安定して収穫できます。



トマト農場内



トマト農場で栽培されたプチトマト

本案件化調査では、タイ北部アンカーン地域及びバンコク近郊を対象に、トマト農場の現地適合可能性を調査し、高級トマト及び汎用トマトの栽培と流通販売経路の構築を目指します。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2014年度補正予算分並びに2015年度第1回分は本年3月に公示を行いました。94件の応募のうち32件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：(プレスリリース) 案件化調査 2014年度補正予算/2015年度第1回公示の採択結果について

URL：http://www.jica.go.jp/press/2015/20150716_01.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 山田(案件担当)、野村(広報担当)

TEL 03-5226-9283 e-mail: pdtfs@jica.go.jp